

創立55周年

西南シャントツール
第32回定期演奏会

SEINAN CHANTEURS ANNUAL CONCERT 2009



SEINAN CHANTEURS

2009

平成21年度福岡市民芸術祭参加

《創立55周年》

西南シャントゥール第32回定期演奏会 SEINAN CHANTEURS ANNUAL CONCERT 2009

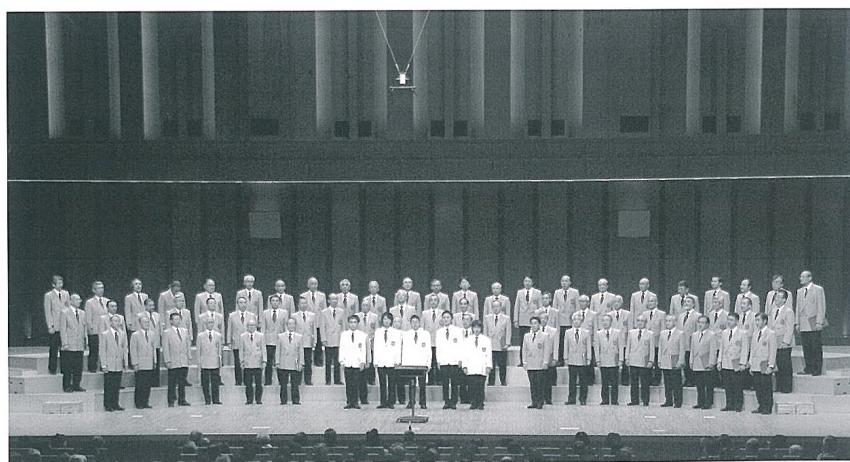
《賛助出演》

女声合唱団グリーンヒルコール
フラウエンコール南

2009年11月8日(日) 14:00開演
アクロス福岡シンフォニーホール

主催/西南シャントゥール 共催/福岡県・福岡市・(財)アクロス福岡・(財)福岡市文化芸術振興財団
共催/西南学院大学同窓会、西南学院グリークラブOB会

後援/(財)福岡市文化芸術振興財団・福岡市・福岡市教育委員会・福岡音楽団体連絡会・福岡県合唱連盟・西日本新聞社



「2008定期演奏会」より

ごあいさつ



西南シャントゥール
会長／的野 恒一

行楽シーズンの日曜日、何かとご予定の多い中、本日は私共の「第32回定期演奏会」にご来場賜り厚くお礼申し上げます。

今年は55周年の節目の定期演奏会になりますが、客演指揮者に久世安俊氏をお迎えしての待望のステージが実現しました。氏は長年シャントゥールのボイストレーナーを務めて頂いていますが、今回、氏が選曲された「初心のうた」をどこまで歌いこなせるか、私共の力量が問われる第三ステージとなりそうです。

そして「賛助出演ステージ」は、大庭尋子さんが指揮をされておられる二つの女声合唱団が今回も出演を快くお引き受け下さいました。八年振りの再出演です。素晴らしい歌声とパフォーマンスお楽しみ頂けると思います。

第一ステージでは、戦後、西南学院グリークラブ復興の基礎を作って頂いた故・石丸寛氏編曲の「ロシア民謡」を歌います。氏が亡くなられて早や12年になりますが、氏とシャントゥールの共演は15年前のシャントゥールの「創立40周年記念演奏会」が最後となりました。この時の元気だった姿をメンバー共々思い出しながら歌いたいと思います。そして嬉しいご報告です。このステージのために、東京より石丸久美子夫人も駆けつけてくださるとの連絡が入っております。

（会場で皆様にご案内できれば幸甚です）

最後のステージは「男声合唱組曲」の至宝、「月光とビエロ」です。往年のアカペラのグリーの響きをとくとご堪能ください。

本日の私共の合唱で、お覽ぎのひと時をお過ごし頂ければ幸いに存じます。

最後になりましたが、本演奏会にご協賛下さいました企業各社並びに共催、後援を賜りました関係各位に深く感謝申し上げます。



西南学院グリークラブOB会
会長／刀根 亨一

1919年に誕生した西南学院グリークラブは、今年90周年を迎えました。先般、全国から270名のOBが集い、現役と共に記念フェスティバルの大合唱を行いました。90年の歴史と伝統の響きに興奮醒めやらぬところであります。

シャントゥールも亦この度、創立55周年に当る第32回定期演奏会を迎みました。日頃からご声援を賜り、本日もご来場いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。さて、本日演奏の「初心のうた」は私達戦中派にとっては「無理強いられた」ほろ苦い青春を想起す歌です。この激しく微妙な旋律を、詩と併せてご鑑賞いただくと、戦中、戦後の心象風景が浮かんできます。また「ロシア民謡集」は戦後のグリークラブに命を吹き込んで呉れた、敬愛する故石丸寛さんへの感謝を込めて、現役グリーメンも一緒に歌います。どうぞ新旧対象的な曲をお楽しみ下さい。皆様の変らぬご支援ご鞭撻をお願い申し上げまして、ご挨拶といたします。



女声合唱団グリーンヒルコール
フラウエンコール南
指揮者／大庭 尋子

創立55周年記念演奏会、おめでとうございます。

記念の年に再び出演させて頂き、光栄に思っております。合唱をこよなく愛し、西南シャントゥールを大切に育てられてきた皆様に敬意を表し、歌わせて頂きます。実は…(私事で大変恐縮なのですが)…西南シャントゥールの誕生の年に生を受けた私は、密かに同級生を見る眼差しで眺めておりました。そのせいでもないのでしょうが、今までの深いご縁を感じています。地元の大学時代には、西南グリークラブの皆様との交流も多く一緒に歌わせて頂く機会がたくさんありましたし、東京から帰福した年にはグリーの定期演奏会にソリストとして参加させて頂きました。その記念に作って頂いた西南のロゴ入りのトレーナーを今も大切に持っているのです。

西南シャントゥールの皆さんのが男声合唱の響きには、力強さだけないナチュラルさの魅力に溢れています。それは豊かな人としての日々の重ねられてきた証であります。どうぞこれからも合唱界のリーダーとして、社会のリーダーとして輝きを増していくかのように、皆様のご発展を心よりお祈りいたします。



[I 部]

I. 『ロシア民謡曲集』～石丸 寛 編曲による

指揮：佐藤棟也

- カチューシャ (作詞: イサコフスキー 作曲: ブランテル)
- ボルガの舟唄 (ロシア民謡)
- ともしひ (作詞: イサコフスキー ロシア民謡)
- 夕べの鐘 (原詩: トーマス・モア 訳詞: コズローフ ロシア民謡)
- トロイカ (訳詞: 楽団カチューシャ ロシア民謡)
- あゝ、この良夜 (ロシア民謡)

II. 《賛助出演》

女声合唱団グリーンヒルコール
指揮：大庭尋子
& フラウエンコール南
ピアノ：武末陽子
ピアノ：池松佳奈子
～歌い続ける友へ～
そして生き続ける地球へ 愛を込めて～

- きみ歌えよ (作詩: 谷川俊太郎 作曲: 信長貴富)
- ここから始まる (作詞: みなづきみのり 作曲: 北川昇)
- 今年～女声合唱とピアノのための「この星の上で」より
(作詩: 谷川俊太郎 作曲: 松下耕)
- 瑠璃色の地球 (作詞: 松本 隆 作曲: 平井夏実 編曲: 源田俊一郎)

—— 休憩 ——



[II 部]

III. 『初心のうた』男声合唱とピアノのための

作詩/木島 始
作曲/信長貴富

- 初心のうた
- 自由さのために
- とむらいあとは
- でなおすうた
- 泉のうた

客演指揮：久世安俊
ピアノ：植村和彦
練習指揮：高嶋裕二

IV. 男声合唱組曲 『月光とピエロ』

作詩/堀口大學
作曲/清水脩

指揮：徳永和彦

- 月夜
- 秋のピエロ
- ピエロ
- ピエロの嘆き
- 月光とピエロとピエレットの唐草模様

I 『ロシア民謡曲集』～石丸 寛 編曲による

「ロシア民謡」とひと口でいいますが、その中身は多様です。本来のロシア民謡は農村で歌われ、作詩者も作曲者も全くわからない作品が普通ですが、わが国で親しまれている“トロイカ”などの民謡は、そのほとんどが19世紀末にモスクワやペテルブルグなどの都市で生まれています。本来の農村で歌われるロシア民謡も、年中行事に伴って歌われるもの、結婚などの儀礼に伴って歌われるもの、踊りに伴って歌われるものなど様々です。それにロシアジプシーも18世紀以来のロシア音楽文化に大きな影響を与えました。しかしロシア民謡を支えてきたものは必ずしも農民だけでなく、革命前のロシアでは、農民の外に、御者や船曳、兵士やそれに盗賊、囚人など様々な職業や社会層があり、そのそれぞれが自己的民謡を持っていました。本日歌います曲は、いずれもその代表的なものです。

ロシアの広大な領土、厳しい自然環境、民族の歴史の中から生まれた民衆の感情の率直な表出である「ロシア民謡」の息吹を、石丸 寛の編曲でお伝えします。

●「カチューシャ」

カチューシャはエカテリーナの愛称。戦争に行った兵士がカチューシャを想う曲。緩急と強弱の変化が特徴的な編曲となっている。この曲は石丸 寛氏が直接当時のソビエト領事館に出向き、採譜し編曲したもので、昭和22年の第一回西部合唱コンクールの自由曲として氏の指揮で初演されました。「ダイナミックなイントロと効果的な加速進行の華麗な旋律が、情熱的な歌声に乗って流れた。聴衆を魅了し、万雷の拍手、しばし鳴り止まなかった」と当時のグリーOBはこの時の様を書き記しています。

このコンクールの初優勝が後の「西南学院グリークラブ」隆盛への出発となりました。勿論今日のステージでも当時のOB達が熱唱します。

●「ヴォルガの舟歌」

モスクワの南カスピ海に注ぐ大河、ヴォルガ川で、旧ロシアの労働者が川の舟を苦しみながら網で曳き上げる時の歌。弱く始まり、段々強くなりまた弱くなっていく様は、舟を曳く人夫が遠くから次第に近づき、やがて又遠くに去っていく様を描写しており、“オペラ歌手シャリアピン”が最初にこの様な歌い方をした。

●「ともしひ」

もともとあったロシア民謡に、ペラルーシの民族詩人イサコフスキイが詩をつけたもので、前線に発つ兵士を見送る少女の姿と、故郷のともしひを守るために戦う兵士の姿を歌っている。

●「タペの鐘」

わずか16個の音符でつくられた曲で、人生の深い想いを描いている。故郷の村に永遠の別れを告げる男の独白になっている。俳句の世界を思い起こす様な曲である。国立モスクワアカデミー合唱団の重要なレパートリーのひとつとなっている。

●「トロイカ」

トロイカとは三頭立ての馬車のことであり、原詩はトロイカの憂いを帯びた顔の御者の若者が、客の問い合わせに答えて悲しい愛を嘆いたもの。“女声歌手ブレヴィツカヤ”によって広められた。伴奏のSleigh Bellがトロイカの走る様を表現している。

●「あゝ、この良夜」

前段のドラマチックな部分と、後段のロマンチックなつくりが対象的な曲である。後段のメロディックな旋律は、戦後の日本の音楽にも大きな影響を与えた。繰り返されるロマンティックな旋律が印象的である。

それでは、石丸 寛先生の編曲で、どうぞお楽しみ下さい。

(指揮者／佐藤棟也)

カチューシャ

カチューシャよ！
わがひとりの花

村の娘 カチューシャ
祭りの紅き花
暮れゆく森は賑わい
娘は乱れ咲く

歌えよ 舞えよ カチューシャ
裳裾 空になびけ
銀の髪は揺れて
長靴 床に舞う

手を打ち 舞えよ カチューシャ
来れよ わが胸に
男の子の瞳燃えて
酒に蒼く光る

カチューシャよ！
来れよ わが胸に

ヴォルガの舟唄

エイ ウフニエム！
(それ一、掛け声を出せ！)

エイ ウフニエム！

もひとつ それ引け
エイ ウフニエム！

碗をあげよ それ引け綱を
アイ ダーダ
(そう、その調子だ)

アイ ダーダ
もひとつ 卷き上げろ

もひとつ それ引け
エイ ウフニエム！

ともしひ

窓辺に 瞬く
ともしひに
尽きせぬ
乙女の 愛のかげ

夜霧の彼方へ
別れを告げ
雄々しき益荒男(ますらお)
出てゆく
窓辺に 瞬く
ともしひに
尽きせぬ
乙女の 愛のかげ

やさしき乙女の
清き思い
山河 はるかに
隔つとも
二つの心に
紅く燃ゆる
黄金のともしひ
永久に消えず

タペの鐘

タペの 鐘の音
思いは 果て無し

我が恋 破れて
故郷 去りし日

若き日 帰らず
鐘の音 虚しく

君は去りて いのち若く
暗き淵に 失せし灯
わが魂 今 途絶えん
震える手に 刀光る

月は青く 我を照らし
静める夜 鳥も啼かず
世界の果て 今ぞ 広く
溢る涙に 消えてゆく

トロイカ

雪の 白樺並木
夕日が 映える
走れ トロイカ
朗らかに 鈴の音高く

響け 若人の歌
高鳴れ バイヤン
走れ トロイカ
軽やかに 雪粉蹴って
黒い瞳が 待つよ
あの森 越せば
走れ トロイカ
今宵は 楽しい宴

あゝ、この良夜

あゝ、麗し夜 月影 虚し
悲しみは深く 我を閉ざし
今 何処に 愛の夢ぞ
月よ！ 心して 沈み隠れよ

君嫁ぎぬ 雪白き日
鐘は響き 我を残す
燃えし愛は 今 消え失せ
灰残りぬ 涙に濡れ

思い出の日 君と誓い
口づけもて 愛を結ぶ
熱き心 ただ一筋
眞実みて 思い出の日

君は去りて いのち若く
暗き淵に 失せし灯
わが魂 今 途絶えん
震える手に 刀光る

月は青く 我を照らし
静める夜 鳥も啼かず
世界の果て 今ぞ 広く
溢る涙に 消えてゆく

あゝ、麗し夜！

II 《賛助出演》

女声合唱団グリーンヒルコール & フラウエンコール南

～ 歌い続ける友へ
そして生き続ける地球へ 愛をこめて～

●「きみ歌えよ」

一昨年のシャントゥールさんの演奏会の編曲もなさった、若き合唱界のホープ信長貴富氏作曲「新しい歌」の中の曲。親しみやすく、温かみのある谷川俊太郎氏の言葉が、ポップス調のリズムと誰もが口ずさみたくなるようなメロディーに包まれ、「うた」の力を信じ、また感じ合える曲です。

●「ここから始まる」

2008年軽井沢合唱フェスティバルで演奏されるのを聴いて(混声版)感動した曲です。作曲家の北川昇さんにまだ未発表だった女声版の演奏許可を頂いて、今回初めて演奏します。55周年を迎える皆さんに又「ここから始まる」あらたな「ときめき」をお伝えしく選曲いたしました。

●「今年」

谷川俊太郎氏の詩に作曲家松下耕氏が感動しながらつくり上げた、女声合唱とピアノのための「この星の上で」の終曲です。地球人として生きる私達が、考えなければならない事をたくさん感じさせてくれるこの曲集の最後は「いなむことのできぬ希望」に向かっています。聴いて頂く皆さん、お一人お一人に私達の歌声が命の賛歌として何か伝われば嬉しく思います。

●「瑠璃色の地球」

いわずと知れた松田聖子さんのヒット曲です。地球という星に今、命を受け生きている私達の「地球を守りたい」という切なる願いを女声合唱のサウンドでお聴きください。



指揮／大庭尋子 *Ohba Hiroko*

福岡高校、福岡教育大学、東京芸術大学声楽科卒業。声楽を北里由布子、福嶋敬晃、中村浩子、坂本博士各氏に師事。芸大卒業後、声楽家坂本博士氏の音楽事業所に所属し、クラシックからシャンソン、カンツォーネ、ミュージカル、子どもの歌まで幅広い演奏活動をする。東京都の春休み音楽フェスティバルにも6年連続で出演。

'90年にはウィーンで行われた日澳親善交流コンサートにソリストとして参加。好評を博す。'93年に帰福。西南学院グリークラブや合唱団トニカの演奏会にソリストとして参加。

'96、'97年に九州サマーフェスティバルに出演。各地の小学校やチャリティーコンサートなどの演奏活動と共に、合唱指揮者としても意欲的に活動し、'99年にはアクロス福岡2周年記念合唱団の指導にもあたる。全国おかあさんコーラスフェスティバルにてひまわり賞、ジニアコラスフェスティバルでは講師賞受賞。現在、NHK文化サークル講師、福岡雙葉高校非常勤講師、NHK福岡児童合唱団MIRAI、女声合唱団グリーンヒルコール、フラウエンコール南、コールチュリパンの指揮者として活躍中。福岡県合唱連盟福岡支部理事。



ピアノ/武末陽子 *Takesue Yoko*
福岡女学院高等学校音楽科卒業。
桐朋学園大学音楽部演奏学科卒業。
第42回西日本出身新人紹介演奏会にて審査員奨励賞受賞。
フラウエンコール南、NHK福岡児童合唱団MIRAIのピアニストとしても活動している。高島真子、末永博子、安井耕一、奈良良恒美の各氏に師事。



ピアノ/池松佳奈子 *Ikematsu Kanako*
福岡県立小倉高等学校、東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。
ピアノを末永博子、中村順子、片山敬子、勝谷寿子、藤澤克江の各氏に師事。
2007年と2008年、広島と福岡にてピアノショーケンリサイタル開催。
現在女声合唱団グリーンヒルコール、コールチュリパンのピアノ伴奏、女声コーラス西南の風、いそら会アンサンブルの合唱指導、その他、声楽とのアンサンブル、クラシックの演奏会の司会等の活動を行う。

女声合唱団グリーンヒルコール

福岡市東区のみどりが丘で歌を楽しむ会として始まり、1990年にグリーンヒルコールとして発足。以後、次第に本格的なコーラスを目指すようになり、93年指揮者に大庭尋子先生を迎える。毎年、合唱祭、おかあさんコーラス大会に参加し、2002年には全日本おかあさんコーラス全国大会にて、ひまわり賞を受賞。また、地域の保育園や養護学校を訪問するなど活動の場を広げている。西南シャントゥール定期演奏会への賛助出演は2001年以来二度目。毎週月曜日10時～12時、東市民センター音楽室にて練習を行っている。

●Soprano

磯部 直子 柴田知恵子
大野 美子 野田真智子
坂本 直子 畠山志津子

●Mezzo Soprano

安東由希子 花野井礼子
小野真喜江 林 みどり
甲斐美江子 真木 和江
國延 圭子

●Alto

岡田 悅子 中條伸子
梅田みゆき 福島由紀子
倉成 千穂 安武加奈子



第32回 全日本おかあさんコーラス九州支部大会 (6月27・28日 イイヅカコスモスコモン)

フラウエンコール南

1979年「南区女声合唱団」として発足する。その後82年「フラウエンコール南」と改称。93年、3代目指揮者に大庭尋子氏を迎える。10周年、20周年、25周年記念演奏会を福銀大ホールに於いて開催する。毎年、合唱祭、おかあさんコーラス大会、南区市民の祭り「合唱のつどい」に参加する。今年、2009年8月念願だった「全日本おかあさんコーラス全国大会」への出場権を得て「ひまわり賞」を受賞した。また11月27日には福銀大ホールにて30周年記念演奏会を開催します。

●Soprano

伊藤 裕子 北村美知子
内田 道子 桑野 礼子
浦田いづみ 松村 敬子
小川 恵子 郷田あゆみ
川端みどり 森 栄子

●Mezzo Soprano

大倉 加子 田中 淳子
柿山 真弓 花田 彰子
示 サヨ子 松尾 元子
新原 桂子 三島 治子
田嶋 祐子

●Alto

青木 聰美 渡木 奉子
石川 浩子 中原 武子
小野 佐和 森元 道子
城水 元子 矢野 幸子
津田 道子 吉谷佳代子



第32回 全日本おかあさんコーラス全国大会 ひまわり賞受賞 (8月22・23日 ひめぎんホール)

どこを どおろうと
ほしを みあげ
ひとり ひとり
まちやくにの
ころしやつくりかりたてる
くにとひどいしくみを

どこを とおろうと
ほしを みあげ
ひとり ひとり
まちやくにの
ころしやつくりかりたてる
くにとひどいしくみを

※
たおれたひとの
たましいが
わたせなかつたもの
かぞえよう
わたせなかつたもの
めあきめくらに
そらのいろ
きわどい あいざかわす
みちあるい
たましいが
うたえなかつたもの
ゆめみよう

※
たおれたひとの
たましいが
うたえなかつたもの
ゆめみよう
統よりひとを
しひれさせ
ひきがね ひけなくなる
歌のこと

筋肉が燃え
こころ落着けば
肌の微風が
芯までここちよい

醉いつぶされるな
空めまいに
海のめまいに
泳ぎきる訓練で

あるものは被爆の地から
わたしたちは帰還した
古墳の秘密を
ノートへ 解説する
でなおすた
あるものは野戦の地から
わたしたちは帰還した
古墳の秘密を
ノートへ 解説する

尊敬の微笑みへ
知識のよろこばしい収得へ
そしてふたりの愛のむつまじさへ
わたしたちは帰還した はずだった

とおくまで 歩ける足が
ひとり ひとり
ひとり 歩ける足が
ひとり 道をつくりだす
踊れる おどれる
ひろい 道があるといな

ランランラン ランランラン
下宿の畳へ 古本の押花へ
若すぎた遺書へ
生きのびかたへ
銃把から
ベン軸へ
春へ 春へ
芽生えふく風へ
長かつた凍結地から
軍靴の駆足から
無理強いられた拳手の札から
そのまつたくの無我夢中から

ひとり ひとり
ひとり ひとり
ひとり ひとり
ひとり ひとり
ひとり ひとり
ひとり ひとり
ひとり ひとり

ランランラン ランランラン
ひそかに つぼみは 考える
どちらに 向かおうかと 考える
大きな 太陽が 夢を きめる
ひそかに つぼみは 感じてる

自由さのため
ひとり ひとり
ひとり ひとり

どこを とおろうと
ほしを みあげ
ひとり ひとり
まちやくにの
ころしやつくりかりたてる
くにとひどいしくみを

III 『初心の歌』 男声合唱とピアノのための

選曲、指揮をするにあたって——

指揮者 久世安俊

信長貴富氏の作品をやってみたかったのです。一昨年のシャントワール定期公演での、信長氏の選曲・編曲委嘱によるステージ。とても印象深く残っていました。また自分と年齢が近いということも気になっていた理由のひとつですね。

そしてこの「初心のうた」私は、このタイトルに惹かれ楽譜を開いてみたのです。私自身、音楽活動や内容に停滞というか、マンネリを感じていました。何かアクションを起こさないと駄目になってしまふような気が…そこへ指揮の依頼が来たのです。まさに一筋の光でした。この機会を大切に、真剣に取り組んでいこう、そして自分を見つめ直そうと。「初心」だったのです。

木島氏の視点は、現実の厳しい社会を映し出しています。しかしそこには「未来」という一筋の光を感じずには居られません。逃げることなく着実に歩みを続けることで、道が生まれる。その先にこそ明るい未来、平和な世界が待っているのだと。この詩に、信長氏は躍動的かつ美しい旋律で答えてくれています。

この作品は、まさにこのステージそのものを感じるので。木島氏の語り部としてのシャントワールメンバーと、信長氏と同年代の私とのコラボレーション。お客様の心にどのように届きますでしょうか。私にとっても大切な一步となります。

● 「初心のうた」

世の中の闇の部分を象徴する響きとして、冒頭のピアノが提示された後、淡々としたピアノの伴奏型の上に旋律が歌われる。未来をつきとめようという意志に向かっていく詩の構成に従い、曲は次第に光を増していく。

● 「自由さのため」

独りで世の中を「泳ぎきる」ために「酔いつぶされるな」と伸びやかに歌う。軽快なテンポの中を爽やかに微風が駆け抜ける。

● 「とむらいのあとは」

死者のたましいを優しく包むように、ゆったりとしたテンポでハーモニーが移ろう。優しい響きの中に「銃よりもしひれさせ ひきがね ひけなくなる歌」という印象的な言葉が織り込まれる。詩は4聯から成るが、作曲の都合上前半の2聯は省略した。

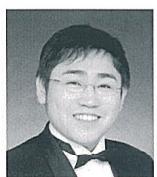
● 「でなおすた」

全編を貫くピアノのオティナートと、骨太な旋律線による曲。光が差す方へ音楽は前向きに展開するが、一転、終結部「…はずだった」という詩句と突き刺さるようなピアノの音型によって、大きな疑問符が投げかけられる。全5曲の重心を成す作品。

● 「泉のうた」

第1曲冒頭で闇の象徴として示されたピアノの音型が、光あふれる響きとなって冒頭に再現される。未来に向かって道を作り出す「足」——その足取りのように、力強い楽想が展開される。

(作曲家/信長貴富: 楽譜ライナーノートより)



客演指揮／久世安俊 Kuse Yasutoshi

福岡教育大学音楽科(声楽)卒業。同大学院修了。
北里由布子、三浦國彦、平和孝嗣、斎藤幸一の各氏に師事。

オペラ「ラ・ボエーム」「フィガロの結婚」「カルメン」「泥棒とオールドミス」「魔笛」「コシ・ファン・トゥッテ」「秘密の結婚」「ヘンゼルとグレーテル」「泣いた赤兎」に出演。
第37回、41回九州サマー・フェスティバルにて九州交響楽団と共に演。2009釜山芸術祭「歌曲とアリアの夜」で金門市立交響楽団と共に演。バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「クリスマスオラトリオ」「カンタータ」、ヘンデル「メサイア」、モーツアルト「レクイエム」「戴冠式ミサ」、フォーレ「レクイエム」のソリストの他、ジョイントコンサート等に出演。1999年、オホーツク国際音楽セミナー小林研一郎指揮法講座受講。
現在、近畿大学九州短期大学講師。RKB女声合唱団指揮者。西日本オペラ協会理事。

IV 男声合唱組曲「月光とピエロ」

作曲者・清水脩(1911~1986)自身が組織した「東京男声合唱団」の為に、1949年に作曲。組曲中、第2曲「秋のピエロ」を合唱コンクールの課題曲として発表し、後で、他の4曲を加え「合唱組曲」とした。この「合唱組曲」という形式は、この「月光とピエロ」において清水が世界で初めて使った手法と言われている。男声合唱の特徴をよく生かし、美しい日本語による洗練されたロマンティシズムを謳つたこの曲は、「男声合唱の古典」と言われている。半世紀を経た今日でも男声合唱においてのみ表現しうる音楽を持ち、男声合唱のレパートリーとして歌い続けられている不滅の名曲である。

詩は、堀口大學(1892~1981)がリオ・デ・ジャネイロ(ブラジル)滞在中に出版した恋女詩集『月光とピエロ』(全11章)の第1章「月光とピエロ」の6編の中から4編、4曲目「ピエロの嘆き」は第2章「EX-VOTO(さげ物)」の7編の中から採られている。

曲の解説について、声楽家・山本健二氏(元早稲田大学グリークラブ指揮者)の興味深い考察の一部を紹介する。

「月光とピエロ」はマリー・ローランサンへのかなわぬ恋の詩である。

堀口大學の第1の詩集『月光とピエロ』に序した永井荷風は「君は何故におどけたるピエロの姿としめやかなる月の光とを借り来たりて其の吟懐を托し給へるや」と書いている。その時、荷風は大學のマリー・ローランサンへの悲恋は知るよしもない。もし知りていれば、その吟懐の由って来るところを書き記した筈である。

大正4年1月外交官である父・九萬一(くまいち)と共にマドリッドに赴いた大學は、当時すでに名声を博していた女流画家で、詩人でもあるマリー・ローランサンと出会い交遊を深めていく。淡い恋が芽生えるが、9歳年上で、夫のある名流夫人であれば、もともとかなわぬ恋なのである。――23歳のこの身、この思いは、所詮ピエロのようなもの。

この恋はやがて大正8年(1919年)刊行の第1詩集『月光とピエロ』のポエムとなった。

●「月夜」

ローランサンとの別離のさびしさ。月の光の中で独り佇むピエロ。しみじみ見まわせどコロンビヌス(ローランサン)の影もない。涙をながすしかないピエロなのだ。

●「秋のピエロ」

秋はものさびしい季節である。秋じや秋じやとうたう心もさびしい。かなわぬ恋をあきらめた大學にとって、ひとしお身に滲みるさびしさがある。――おどけたれども、わがピエロ―― わがピエロと大學はここで、自分のピエロつまり、わが身がピエロのような存在であることを告げている。大學にとっての眞実は、ローランサンへの恋心。その眞実のかなわぬ恋に涙を流すのだ。

●「ピエロ」

白は、はかなさの色である。ローランサンに対しては、月の光のような存在感のうすいピエロ。顔は真白に化粧して、あかるく裝つてはいるが、心はただただつらさびしいのだ。

●「ピエロの嘆き」

この詩のみが他の4つの詩とは別の章『EX-VOTO(さげ物)』にあるのは、何故か。大學の父・九萬一は各國の公使を歴任した人である。息子である大學も外交官の道を歩ませたかったが、大學は詩人の道を選んだ。しかし、詩人の生活は浮き草のようなもの。やがて、父無児(てなし)になるような運命が待っているのかもしれない。父・九萬一への思いと、我が身の行く末への思案、それらのことがローランサンへの恋心とは係わりのない別の詩編に組み込まれたものと思われる。

●「月光とピエロとピエレットの唐草模様」

うつし世では添い遂げられぬローランサンへの恋。序曲「月夜」においてコロンビヌス(ピエロとは別世界の存在)であったローランサンは、この最終曲においては、ピエレット(女性のピエロ：同じ世界の存在)となり、踊り歌い、歌い踊り続ける。大學はこの詩においてピエロ、ピエレットという一体化したフレーズを十度も繰り返す。終り合うがごとく繰り返されるフレーズによって大學の詩魂はローランサンと共に乱舞昇華していくのである。

大正13年1月パリでローランサンと再会を果たした直後の3月、ブカレストの英國大使館で開かれた仮装舞踏会に、大學はピエロの姿で参加している。初めて会ってから9年の歳月を経てもなお続くローランサンへの思慕、しかしあが身の存在は依然としてピエロのままであるとの思いを象徴する姿である。

男声合唱の経験者であれば、一度は歌ったことがある曲。私共メンバーも学生時代から現在に至るまでに、畠中良助、福永陽一郎、北村協一、内海敬三、そして学生指揮者等々のもとで歌っている。

メンバー各々の経験の中に、曲の歌い方・解釈、其の時の思い出なりがあると思うが、今、平均年齢65歳の私共、初心に帰り、新たな気持で、詩の中に包み込まれている純愛、孤独、さびしさ、はかなさ等、情感を歌いあげたい。

(指揮者/徳永和彦)

月夜
月光とピエロ
月の光の照る辻に
ピエロさびしく立ちにけり。
ピエロの姿白ければ
月の光に濡れにけり。
あたりしみじみ見まわせど
コロンビヌスの影もなし。
ピエロは涙ながしけり。
あまりに事のかなしさに
ピエロは涙ながしけり。
月の光に濡れにけり。
あたりしみじみ見まわせど
コロンビヌスの影もなし。
ピエロの姿白ければ
月の光に濡れにけり。
あたりしみじみ見まわせど
コロンビヌスの影もなし。
ピエロは涙ながしけり。
月の光に濡れにけり。

秋のピエロ
泣き笑いしてわがピエロ
秋じや！ 秋じや！
○の形の口をして
月のようなる白粉の
顔が涙を流すなり。
秋じや！ 秋じや！
と歌うなり。
月の光は
見ゆれども
ピエロは
月の光なり！
白くあかるく
見ゆれども
ピエロの顔は
さびしかり！
月の光は
見ゆれども
ピエロの顔は
さびしかり！

ピエロの嘆き
身すぎ世すぎの是非もなく
おどけたれどもわがピエロ
秋はしみじみ身に滲みて
身はみ空に身はここに、
身すぎ世すぎの泣き笑い！
かなしからずや身はピエロ、
月の娘の父無児！
月はみ空に身はここに、
身すぎ世すぎの泣き笑い！
踊りけり、
ピエロ、ピエレット。
歌いけり、
ピエロ、ピエレット。
踊りけり、
ピエロ、ピエレット。
歌いけり、
ピエロ、ピエレット。
踊りけり、
ピエロ、ピエレット。
歌いけり、
ピエロ、ピエレット。

月の光に照らされて
ピエロ、ピエレット。
月の光に照らされて
ピエロ、ピエレット。
月の光に照らされて
ピエロ、ピエレット。
月の光に照らされて
ピエロ、ピエレット。
月の光に照らされて
ピエロ、ピエレット。

堀口大學
詩

ピエロ

月光とピエロと、
ピエレットの唐草模様

指揮／徳永和彦 *Tokunaga Kazuhiko*

福岡高等学校在学中合唱部に所属、指揮を担当。
1961年西南学院大学商学部卒業。
在学中、西南学院グリークラブ創立40周年記念演奏会にて学生指揮を担当。
1997年、西南シャントゥール委嘱作品、多田武彦作曲：男声合唱組曲「三崎のうた・第二」を初演。1996年より西南シャントゥール指揮者。

指揮／佐藤棟也 *Satoh Tohya*

福岡高等学校在学中合唱部に所属。
1970年西南学院大学文学部フランス語専攻卒業。
在学中、西南学院グリークラブ創立50周年記念演奏会、東京・大阪記念演奏会にて学生指揮担当。創立50周年記念委嘱作品「清水脩作曲「木下夕爾の三つの歌」」を初演。
卒業後、石丸寛氏の東京フィルハーモニックソサイアティ他各合唱団で合唱活動。
2006年より西南シャントゥール指揮者。

ピアノ／植村和彦 *Uemura Kazuhiko*

福岡教育大学教育学部中等教育教員養成課程音楽専攻卒業。
福岡教育大学大学院教育学研究科音楽教育専攻演奏学講座修了。
片山由紀、倉真由紀子、福田ひろみ、福田伸光の各氏に師事。
第43回・第45回・第47回北九州芸術祭にて伴奏賞受賞。
現在、福岡を中心として主に声楽や器楽とのアンサンブル、伴奏の分野で活動中。
西日本短期大学保育学科助教。

1st Tenor

乙藤 成美
宮地 基次
高木 正志
中尾 武史
日高 良公
飛松 智明
本山 和文
山元 一憲
坂部 雅夫
倉地 進
大司 真
山口 聰
杉本 哲也
* 三澤 一勲
* 山口 純平

2nd Tenor

刀根 亨一
的野 恭一
福井 繁
徳永 弘道
大石 宏
野辺 和馬
波多江 忠
山元 一憲
一柳 隆治
黒江 量二
徳永 武雄
石松 茂
高川 弘幸
窪田 敏博
眞銅 敬介
* 青木健太郎

Baritone

本永 哲也
中辻 浩一
和田 正義
鈴木 勸
粟野 寿泰
石川 和義
古賀 正義
篠崎 詔二
森 博彦
佐藤 棟也
松尾 淳郎
里中 健
小西 真二
高川 恒生
高嶋 裕二
* 綾部 匠馬
* 林田 宗大

Bass

下川 勝史
木道 昇
田中 義信
鶴 喜廣
松枝 保匡
平田 大三郎
八尋 一雄
阪井 俊文
蓮尾 勝右
佐藤 忠芳
波多野 勝彦
毛利 正明
夏秋 毅昭
武藤 新
八尋 憲二
角 正信
松尾 重治
谷口 俊治
中垣 登
宮地 純
福田 誠司

* 山崎竜太郎

* 西南学院グリークラブ現役：第1ステージ



西南シャントゥールは1954年（昭和29年）4月、西南学院グリークラブ54期のOBらが中心となり結成された。以来、西南学院卒業者ののみのメンバーで構成されており、西南OBの結束の堅さを継続している。シャントゥール〔Chanteurs〕という名称は、当時のアメリカ海軍の男声合唱団名の“*The Sea Chanters*”とフランスの男声合唱団名“*Companion de la Chanson*”を参考にし、結局フランス風に洒落て西南シャントゥール〔Seinan Chanteurs〕と命名された。

結成された当時は主に全日本合唱コンクールへの出場を目指し、3位入賞などの実績を残している。現在では、専ら年に一度の「定期演奏会」を活動の中心に置き、同時に又各地の合唱団とのジョイントコンサートやゲスト出演活動を続けている。現在全国的にみても、毎年定演を持つ貴重な一般男声合唱団として高く評価されている。

又、定期演奏会においては、委嘱作品の初演にも力を注ぎ注目されている。

多田武彦作曲：男声合唱組曲「柳河風俗詩・第二」・「三崎のうた・第二」

吉田悠作編曲：日本の歌による男声合唱のためのメドレー「海へ山へ」・

男声合唱とハープのための「アイルランド民謡」

宇野正寛編曲：男声合唱曲「日本の歌メドレー」

大島ミチル作曲：男声合唱とピアノによる「生命の誕生」・

「悲しい歌はきれいですか」（NHK「御宿かわせみ」主題歌男声合唱版）

第30回記念定期演奏会では、信長貴富氏に「時代～ニューミュージックと呼ばれた歌たち～」を編曲委嘱した。

（社）全日本合唱連盟・福岡県合唱連盟・福岡音楽団体連絡会 会員

《1年間の演奏活動》

2008.12.6 2008西南シャントゥール定期演奏会（第31回）

12.23 福岡女学院「メサイア」コンサート

2009. 1.24 新年会

2. 1 総会

3.14 能古博物館・開館20周年記念講演会賛助

3.19 西南学院大学卒業式

4. 1 西南学院大学入学式

4. 3 西南学院大学学生寮校歌指導（有志）

5. 8 ソフトバンク・ホークス公式試合セレモニー国歌斉唱（対・西武ライオンズ戦） 福岡ヤフードーム

6.13 西南学院大学ワンドーフォーグル部創立50周年記念コンサート 西南コミュニケーションセンター

6.14 福岡県合唱連盟福岡支部合唱祭

6.20 西南学院創立93周年記念音楽会

9. 4 ソフトバンク・ホークス公式試合セレモニー国歌斉唱（対・西武ライオンズ戦） 福岡ヤフードーム

9.19 西南学院グリークラブ創立90周年記念式典・フェスティバル 西南学院大学チャペル

10.12 「筑紫讃歌」演奏会（有志） アクロス福岡シンフォニーホール

11. 8 西南シャントゥール第32回定期演奏会 アクロス福岡シンフォニーホール

アクロス福岡シンフォニーホール

アクロス福岡シンフォニーホール

西南コミュニケーションセンター

西南コミュニケーションセンター

ももちバレス

西南学院大学体育館

西南学院大学体育館

西南学院大学学生寮

大野城市まどかぴあ

西南学院大学チャペル

西南学院大学チャペル

西南学院大学チャペル

西南学院大学チャペル

西南学院大学チャペル



西南シャントゥール 第33回定期演奏会

2010年12月4日（土）・アクロス福岡シンフォニーホール

■プログラム 制作／中尾武史

広告／的野恭一・木道 昇・平田大三郎・武藤 新・中垣 登

印刷／MUSURUDO

西南学院大学卒業生による「オール西南音楽会」

モーツアルトのミサ曲 「レクイエム K.626」

指揮／林 良 隆 (78期生)

■日時／2010. 03. 21 (Sun.)
13:30開場 14:00開演

■会場／西南学院大学チャペル

出演／西南シャントゥール・西南ベルトウツティ・橘レクイエムオーケストラ
主催／西南学院大学卒業生音楽団体連絡会 共催／西南学院大学
後援／西南学院大学同窓会・西南ゆりの会・西日本新聞社
協力／(株)キャンバスサポート西南
入場料／500円 お問い合わせ／(092)928-0911(中尾)

ミニカー集めのきっかけに！ ミニカーにふれてみませんか



▼はたらく車のミニチュア・プラモデル 通信販売
ショップです。
トラック、建設機械から農業機械までいろいろ
取り扱っています。

▼取扱商品3000種以上のはたらく車の画像が見ら
れます。
インターネットからご注文頂けます。
<http://www.mt-factory.com>

インターネットをご利用頂けな
い方には、新製品案内のチラシ
を配布しております。
郵便番号・ご住所・お名前と
'ニュース希望' とお書き添え
の上、下記住所まで
80円切手（×お届け回数分）を
お送りください。

**Model Truck
Factory**
モデルトラック ファクトリー
(有)武藤技建内
TEL:092(918)5615・FAX:092(918)5610
(日・木曜・祝日定休)

Grain & Pet Care Communication



株式会社 森光商店

〒841-8611 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜9-7
PHONE. 0942-85-1125(代) FAX. 0942-82-9780

きどう動物病院
KIDOU SMALL ANIMAL HOSPITAL

獣医師 木道 寛・木道浩子

福岡市城南区田島5-4-18
TEL 092-862-1222



株式会社 山本文房堂

●本 店／中央区大名 2 丁目4-32 〒810-0041 ☎092(751)4342
●アートスクール／中央区大名 2 丁目4-32 〒810-0041 ☎092(751)4342

*通信販売を承ります。お気軽におたずねください。
URL <http://www.yamabum.com> E-mail yamabum@anet.ne.jp



中垣不動産

不動産のことならおまかせ下さい。
誠心誠意でお手伝いさせて頂きます。

福岡県知事 (3) 第14016号
〒818-0121 太宰府市青山3-27-2
Tel:092-918-6487 Fax:092-918-6488
<http://www.nakagaki-fudousan.com>
E-mail:nakagaki@bb.csf.ne.jp



健康で豊かな生活づくりに貢献する

日清製粉株式会社

業務用小麦粉、プレミックス、ふすま・胚芽などの小麦連産品、ライ麦粉などの原料素材を供給。
業界のリーディングカンパニーとして新しい食文化の創造や新業態開発にも挑戦しています。

日清製粉株式会社 福岡営業部
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-19-5 TEL 092-472-4871

unicarm ユニ・チャーム ペットケア株式会社



犬種で選べる専用フード

体型や体格によって、ケアしてあげたいカラダの部分は違います。
愛犬元気ベストバランスは、素材本来のおいしさと
栄養バランスで、特定犬種の健康をサポート。
豊富な種類の素材のうまみをぎっしり詰めこんだので、
毎日の食事がもっと楽しくなります。



●商品に関するお問い合わせは、フリーダイヤル 0120-810-539 ユニ・チャーム ペットケア株式会社 お客様相談室まで。ユニ・チャーム ペットケア株式会社 <http://www.uc-petcare.co.jp>



鳥越製粉株式会社

〒812-0014 福岡市博多区比恵町5番1号
TEL 092-477-7120
FAX 092-477-7122

Chinatown variety もっと、中華樂喜街。LUCKY

1F~4F 創業明治37年



福新樓

1F Front
2F Restaurant
3F Banquet room
4F Private room

営業時間／11:30~22:00 (O.S21:00)

2F NEW TERRITORY 新界
north side

EXPERIENCE

営業時間／平日 11:30~15:00 18:00~23:00
日祭 12:00~15:00 17:00~22:30
(O.Sは閉店の各30分前)

1F ZHANG'S NOODLE & SOUP RICE
north side

張'S 麺粥店

百年甘栗

営業時間／11:30~22:00 (O.S21:30)

1F ChinaCafé
south side

営業時間／11:00~22:00 (O.S21:30)

※各店舗とも年中無休（年末年始を除く）

お得な情報やメニューが満載！
<http://www.fuxinlou.jp>



無料携帯メール会員で
お得なクーポンをGET!

〒810-0001 福岡市中央区天神 2-3-33

フリーダイヤル フクシンロウはオンライン
0120-2946-01

TEL 092-771-3141(代)



Since 1954